

【NEWS RELEASE】

2022年4月1日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

サステナビリティへの取組強化について

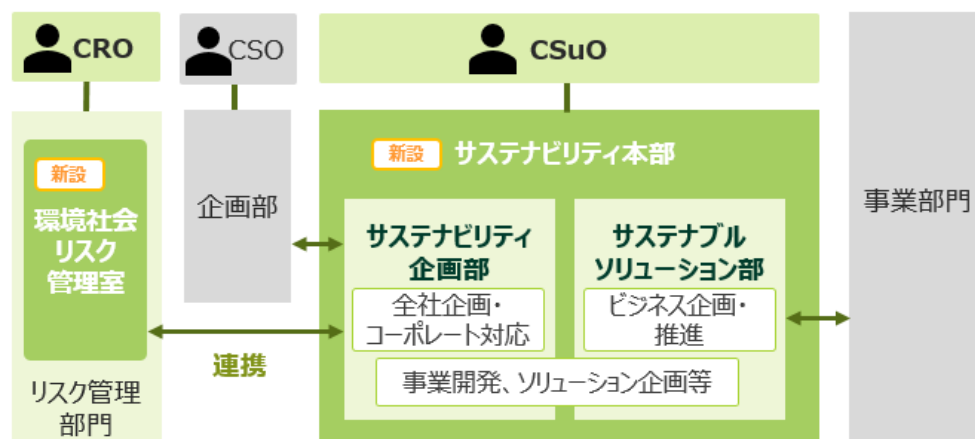
株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、サステナビリティへの取組を以下の通り強化いたします。

SMBC グループは、世界が直面している気候変動への対応、生物多様性の保全、人権の保護といった環境・社会課題への対応に全力で取り組み、また、お客さまの取組やイノベーション技術への支援を一層拡大することで、サステナビリティの実現に貢献してまいります。

1	組織改定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「サステナビリティ本部」の新設 ・ 「環境社会リスク管理室」の新設
2	規程・方針改定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「SMBC グループ 環境・社会フレームワーク」策定 <ul style="list-style-type: none"> - 「社会貢献方針」および「持続可能な調達方針」の新設 - 炭鉱採掘セクターに対する方針見直し
3	投資枠設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「サステナビリティ投資枠」（200億円）の設定
4	Scope1, 2 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4本部ビル（本店、東館、大阪本店、神戸本部）で再エネ化実施

1. 組織改定

サステナビリティへの取組に関する態勢強化を目的に、「サステナビリティ本部」および「環境社会リスク管理室」を設置しました。サステナビリティに関する機能・知見をグループベースで集約の上、リソースを増強して環境・社会課題への対応力を増強すると共に、ビジネス推進を支えるリスク管理体制も強化することで、経営態勢の高度化を図ります。



(1) 「サステナビリティ本部」の新設

目的	サステナビリティに関する機能・知見をグループベースで集約の上、リソースを増強し、環境・社会課題への対応力を強化すること	
概要	サステナビリティ企画部およびサステナブルソリューション部が、グループCSu0 (Chief Sustainability Officer)のもと、企画から推進まで一貫して対応	
	① サステナビリティ企画部	サステナビリティに関するグループ全体戦略統括や、中期的な視点での事業開発
	② サステナブルソリューション部	サステナブルビジネスの推進や、お客さまの脱炭素対応支援に向けたエンゲージメントの推進

(2) 「環境社会リスク管理室」の新設

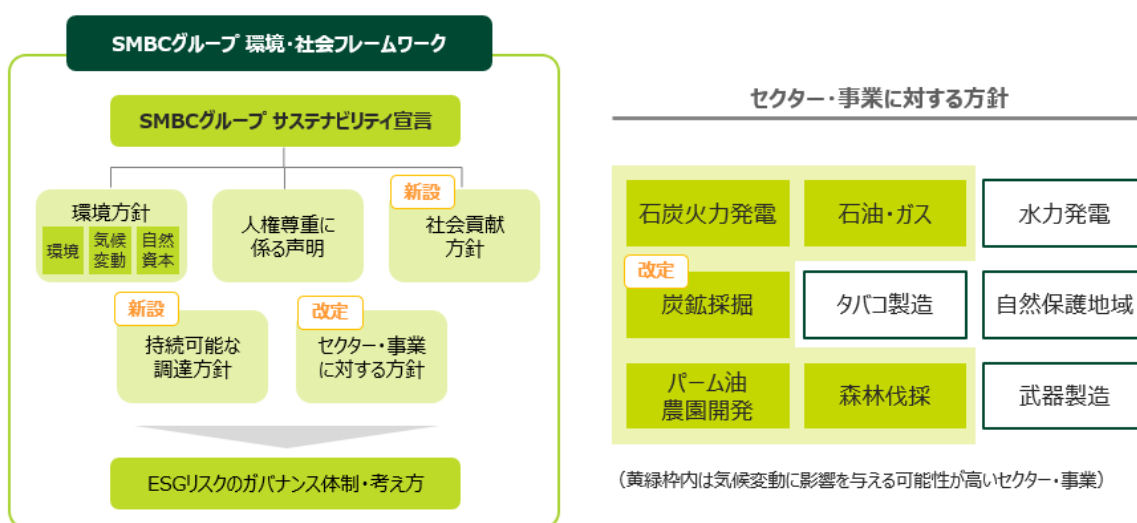
目的	脱炭素対応へのコミットメントやサステナブルビジネスの推進を支えるリスク管理体制を強化すること	
概要	グループCRO (Chief Risk Officer)のもと、リスク管理部門内に点在していた環境・社会リスク対応に関連する機能を集約	

2. 規程・方針改定

気候変動への対応、生物多様性の保全、人権の保護等、環境・社会課題の解決に向けて、金融機関に求められる役割がますます広がる中、そうした課題に対するSMBCグループの基本姿勢や対応方針を整理し、ステークホルダーの皆さまに対する説明力の向上を図ることを目的として、「SMBCグループ 環境・社会フレームワーク」を策定しました。

併せて、「社会貢献方針」および「持続可能な調達方針」を新設した他、環境や社会へ大きな影響を与える可能性が高いセクター・事業に対する方針を厳格化します。

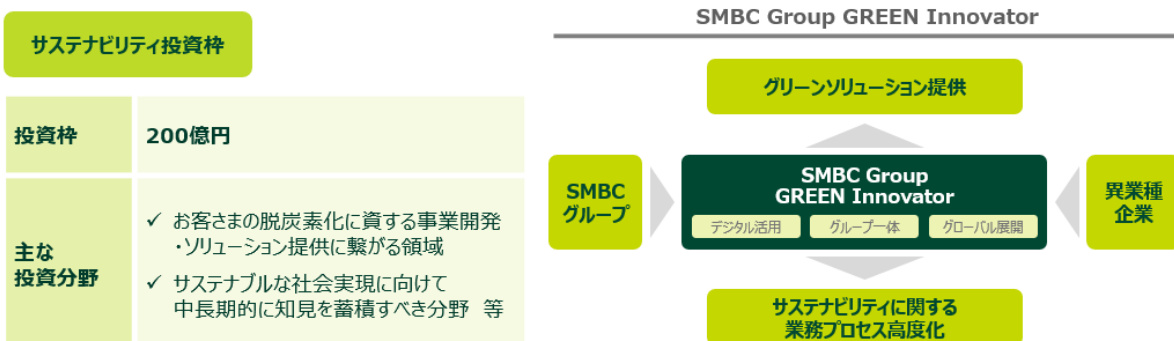
(URL) https://www.smfg.co.jp/sustainability/group_sustainability/esframework/



<p>新設</p> <p>社会貢献方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献への取組を通して社会的インパクトを創出し、当社グループの価値創造を強化することを目的として新設 ①社会における役割、②当社の社会貢献、③社員への姿勢、④開示姿勢等の4つの観点から、社会貢献活動についての当社グループの考え方を明確化 <p>(URL)</p> <p>https://www.smfg.co.jp/sustainability/group_sustainability/contribution/</p>
<p>新設</p> <p>持続可能な調達方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 責任ある調達への取組を強化し、サプライヤーと共に持続可能な社会の実現に貢献していくことを目的として新設 環境、人権尊重、法令遵守、情報管理、公正な事業活動などの項目について、サプライヤーに対する期待事項を明確化 <p>(URL)</p> <p>https://www.smfg.co.jp/sustainability/group_sustainability/stakeholder/</p>
<p>改定</p> <p>セクター・事業に対する方針 -炭鉱採掘</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会への移行に伴う座礁資産化リスクや、炭鉱での違法労働・児童労働撤廃のための人権問題、採掘に伴う生物多様性への配慮などを踏まえ、「一般炭採掘」事業の新規採掘と拡張及び当該事業に紐づくインフラ事業の新規開発及び拡張への支援を行わない方針へ改定 (2022年5月予定)

3. サステナビリティ投資枠の設定

SMBCグループは、サステナビリティ関連のソリューションの提供、新たなサービス開発、およびノウハウ蓄積等を目的として“SMBC Group GREEN Innovator”を展開しています。今回、その更なる強化を図りつつ、サステナブルな社会の実現に向け、先進的な技術を有するパートナー企業との関係強化等を目的として、200億円の「サステナビリティ投資枠」を設定しました。



4. Scope1, 2 削減

SMBC グループは、自らが排出する温室効果ガスを 2030 年において実質ゼロにすることをコミットしています。今般、当該 Scope1, 2 のネットゼロ実現に向けた取組みの一環として、4 本部ビル（本店、東館、大阪本店、神戸本部）で使用するすべての電力を再生可能エネルギーに変更しました。

2023 年 4 月以降は、SMBC グループ が保有するすべての自社ビル、および国内主要グループ会社のすべての本社ビルで使用するすべての電力についても再生可能エネルギーに変更する予定です。

今後も SMBC グループ一体となり、温室効果ガス排出量削減の取組を加速してまいります。



(写真) 延岡門川メガソーラーパーク

- ・ 三井住友ファイナンス&リースの戦略子会社である SMFL みらいパートナーズが運営



(写真) 三井住友銀行 東館

- ・ SMFL みらいパートナーズが運営する太陽光発電所の再生可能エネルギー活用

5. 今後の情報開示予定

SMBC グループは、引き続きサステナビリティに関する情報開示の拡充に努めてまいります。

- ・ 気候変動問題への対応強化に関するプレスリリース（5月中旬予定）
- ・ 統合報告書（7月予定）
- ・ SMBC グループ TCFD レポート（8月予定） 等

以 上